



2025 大学院案内

四天王寺大学大学院 看護学研究科 看護学専攻

博士前期課程(看護学修士)

研究者コース/専門看護師コース(精神・老年・災害)

博士後期課程(看護学博士)

大学卒業でなくても、出願資格審査に合格すれば
大学院に進むことができます。

高度実践能力や研究能力を習得するためにともに
研鑽しませんか。

9月 選考

試験日：2024年9月7日(土)

出願期間：2024年8月14日(水)～8月22日(木)
(出願資格審査：2024年7月22日(月)～7月25日(木))

2月 選考

試験日：2025年2月1日(土)

出願期間：2025年1月3日(金)～1月14日(火)
(出願資格審査：2024年12月2日(月)～12月5日(木))

四天王寺大学 入試・広報課

所在地：〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1
電話番号：072-956-3183(入試・広報課直通)

HP：<https://www.shitennoji.ac.jp/faculty/graduate/nursing/>



教 育 理 念

本学の建学の精神である「理想とする未来像を描き、その実現のための強い意志を鍛える」こと及び学園訓である「和の精神」に基づき、看護学研究科は、看護実践・看護学の理想を描きつつ、人間と命の尊厳を尊重し、人とのつながりを大切にして、高い倫理観を持ち、高度な看護実践力、看護の知の構築に寄与しうる研究力及び教育力を養い、看護学の発展と人々の健康、社会の安全・安心の創造に貢献しうる人材を育成することを教育理念とする。

特 色

少子超高齢社会などの変化が進む社会状況において、人々の看護に求めるニーズはますます多様化・複雑化しています。こうした中で、本学の建学の精神を核に、看護の独自性・専門性を追求しつつ、地域社会で活躍できる高度専門職業人・研究者・教育者となる人材を育成します。本学の関連法人として社会福祉法人四天王寺福祉事業団があり、医療福祉施設、高齢福祉施設、保育・母子・女性福祉施設、障害福祉施設など20を超える施設を有しており、看護の実践・教育・研究を充実させていくための適した環境が整っています。また、医療現場で働く社会人の皆さんが勤務を続けながら修学できるよう、長期履修制度、夜間や土曜日の授業、また集中講義等も取り入れています。

博士前期課程

▶ 「研究者コース」と「専門看護師(高度実践看護師)コース」の2コースを設置。

▶ 育成する人材

研究者コース

多様化・複雑化している人々のニーズに対応して理想の看護を描きつつ、研究者や教育者としての基礎的能力を有した人材を育成する。

- 1 変化する社会のニーズに対応した看護の提供をめざした研究ができる基礎的な能力を有する人材の育成
- 2 看護職の教育的機能を理解し教育力を発揮できる人材の育成

専門看護師 (高度実践看護師) コース

精神看護学/老年看護学/
災害看護学

多様化・複雑化している人々のニーズに対応して理想の看護を描きつつ、教育・研究能力を備え、高度な看護実践能力を有した人材を育成する。

- 1 人々の生活や健康を守るために、グローバルな視点を持ち、高い専門知識・技術を身につけた人材の育成
- 2 実践の場において看護者や学生に対する教育的役割を果たし、多職種との協働ができる人材の育成

▶ 定員	入学定員	6人	収容定員	12人
------	------	----	------	-----

▶ 取得学位 博士前期課程修了者：修士(看護学)

▶ 修了要件

博士前期課程の標準修業年限は2年とする。ただし、社会人で長期履修制度を希望する学生の修業年限は3年とする。

研究者コース

合計30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

専門看護師(高度実践看護師)コース

精神看護学・老年看護学・災害看護学

合計42単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格すること。

予想される進路

博士前期課程の研究者コース修了者は、看護の対象者や看護職に対する教育者として、また病院等の教育担当者や看護系大学・専門学校における研究者・教育者として活躍が期待できます。専門看護師(高度実践看護師)コース修了者は、専門的で高度な看護を必要とする医療・保健・福祉現場で、卓越したケアを提供できる実践者・研究者として活躍が期待できます。また、教育・研究能力のさらなる向上や、より専門性の高い高度専門職業人をめざし、博士後期課程に進学することが予想されます。

博士後期課程

▶ 育成する人材

看護実践・看護学の発展に寄与できる次のような研究者・教育者を育成する。

- 1 人々と社会のニーズに応じた看護実践や社会システムの構築・変革に寄与できる高い研究能力を有した人材の育成
- 2 学際的・国際的視野に立って、研究・教育に寄与できる人材の育成

▶ 定員	入学定員	3人	収容定員	9人
------	------	----	------	----

▶ 取得学位 博士後期課程修了者：博士(看護学)

▶ 修了要件

博士後期課程の標準修業年限は3年とする。ただし、社会人で長期履修制度を希望する学生の修業年限は4年とする。合計18単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

予想される進路

博士後期課程の修了者は、大学や研究機関等において、科学的根拠に基づき自立して研究ができる研究者として、大学等における教育者として、学際的・国際的な視野に立って活躍できることが期待されます。また、病院等の実践の場における看護職者や学生の教育などの活躍も見込まれます。

看護学研究科の構成

【博士前期課程】

基盤看護学分野 <ul style="list-style-type: none"> ● 基礎看護学領域 ● 精神看護学領域 	研究者 研究者 or 専門看護師(高度実践看護師)
生涯発達看護学分野 <ul style="list-style-type: none"> ● 母性看護学領域 ● 小児看護学領域 ● 成人看護学領域 ● 老年看護学領域 	研究者 研究者 研究者 研究者 or 専門看護師(高度実践看護師)
広域看護学分野 <ul style="list-style-type: none"> ● 公衆衛生看護学領域 ● 在宅看護学領域 ● 災害看護学領域 	研究者 研究者 研究者 or 専門看護師(高度実践看護師)

【博士後期課程】

基盤看護学分野
生涯発達看護学分野
広域看護学分野

分野	領域	概要	科目担当教員
基盤看護学	基礎看護学	科学的根拠に基づき質の高い看護援助を実践するために、看護学及び関連学問領域の概念や理論の理解を深め、看護基礎教育や臨床現場での看護援助、看護教育、看護倫理、看護管理上の研究課題を探究する。	中山由美
	精神看護学	精神的健康の保持増進及び精神疾患に関わる心の働きとメカニズムを理解する。さらに、精神疾患患者の多様な社会背景について理解を深め、人権や福祉、支援に向けた倫理的な判断力と実践の向上をめざした研究課題を探究する。	荒井春生 村上茂
生涯発達看護学	母性看護学	女性の健康課題、周産期にある女性及び家族の健康課題を、リプロダクティブ・ヘルス/ライツを基盤に、周産期を含む女性の健康保持・増進及び疾病予防、健康回復に向けたケアに関する研究課題を探究する。	戸田千枝
	小児看護学	子ども及びその家族を取り巻く健康生活の特性を理解し、健康問題をもつ子どもとその家族への看護実践・家族支援、さらに予防的な看護実践・家族支援など、子どもとその家族に関する小児看護学・家族看護学の研究課題を探究する。	泊祐子 西元康世 藤澤盛樹
	成人看護学	慢性期及び急性期・周術期・クリティカルケア看護領域の研究課題の究明に有効な理論、概念を理解し、看護を必要とする人々の回復促進に向けたケアモデルの構築、及び看護職者のケアの質の向上に寄与する課題を探究する。	松尾ミヨ子 福田和明 吉川有葵
	老年看護学	老年期の人々とその家族の健康と生活を支えるケアモデルの構築を行う。また、多様なケア環境で生活する高齢者と家族に対する老年看護の実践力を高めるために、地域包括的な視点からケア施設における老年看護の課題を探究する。	山崎尚美
広域看護学	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学研究の意義、特徴をふまえ、公衆衛生看護学領域において独創性、新規性のある課題を探究する。また、学校生活における子どもの個人または集団の生活と健康の向上をめざした支援システムの構築をめざす。	上野昌江 岡本啓子
	在宅看護学	在宅療養者とその家族看護に関する理論や概念について理解し、在宅看護における健康課題に対して、効果的な予防プログラムや介入方法を探究する。さらに、地域ケアシステムにおける在宅療養者を支える継続的かつ実践的看護モデルの開発を推進する。	小林裕美 乗越千枝
	災害看護学	災害看護に関わる高度看護実践における看護職の役割と機能、災害看護における諸現象について探究する。さらに、災害に対する人々の備え行動の促進ケアモデルや災害後の人々の健康維持・向上に向けたケアモデルの構築をめざす。	亀井縁 山崎達枝

修了生の声

看護学研究科を修了した3名の院生に、
大学院進学きっかけ、院生生活、将来の目標などについて語っていただきました。



医療機関・高等教育機関勤務

黒澤 昌洋 さん

博士後期課程
(基盤看護分野)

科学哲学の視点から診療看護師(NP)の可能性を考察し、 看護師教育の現場に活かす

愛知医科大学病院で診療看護師(NP)として働きながら、愛知医科大学看護学部及び同大学院看護学研究科で教職に就いています。看護学研究科の修士課程で師事していた指導教授が、四天王寺大学院に赴任されると知り、研究活動継続のために進学しました。研究テーマは「診療看護師(NP)における高度実践看護の構造」。診療看護師(NP)が医学的知識・技術を身につけることで病に対してより深く理解できるようになることなどを現象学的アプローチで明らかにしました。私は愛知県在住ですが、講義は集中講義形式で週末等にまとめて履修でき、仕事と研究を両立させることができました。あべのハルカスのサテライトキャンパスのおかげで、遠方から通学しやすい点も魅力の一つです。修了後も愛知医科大学看護学部、研究科での勤務を続け、博士課程で育んだ知見を後進の指導に活かしていきたいと思います。

履修科目[例]

科学哲学

古代から近代までの科学史を学び、科学としての看護学の位置づけを学びました。デカルトなどの哲学を理解することは難しいですが、科学的な方法論とは何かを理解できます。医学と看護学の違いを科学哲学の観点から考えることで、診療看護師(NP)がどのように行動すべきか知見を得られました。



養護教諭

竹村 絢世 さん

博士前期課程
研究者コース(公衆衛生看護学)

児童生徒の心身の不調を解決するために、養護教諭への調査を実施 研究結果を現場に活かし、生徒に寄り添ったサポートを行いたい

養護教諭として中学校の保健室で応急処置や健康相談を行っています。児童生徒の健康課題の深刻さに触れ、専門的に研究したいという思いから進学。自動車通学が可能で、働きながら夜間や休日を利用して講義を受けられるだけでなく、講義日程や時間も調整でき、無理なく学び続けることが可能です。また、研究科内で公衆衛生看護学を学べ、特に学校生活における児童生徒の健康支援について学べる点が進学決め手になりました。保健室によく訪れる児童生徒の心の問題に気付くためには何に注目すべきか、現職の養護教諭を対象に調査を実施。調査結果を活かすことで、児童生徒の心の状態をより正確に推察できると考えています。現場で発見した課題を次の研究テーマとし、研究と実践のサイクルを効果的に回していき、知見をアップデートしていきたいです。

履修科目[例]

看護理論

看護実践を裏付ける理論や概念を学ぶ授業です。看護理論家の提唱について院生がプレゼンを行い、その発表内容をもとに日々の看護実践との関連性や活用方法について議論します。理論だけでなく、他院生の考え方や経験から学ぶことも多く、自分の取り組みを顧みてブラッシュアップする良い機会となりました。



医療機関勤務

山田 美月 さん

精神看護CNSコース

回復への道のりは各人各様 日常生活に復帰するためのサポート力を磨くことができた

慢性期病棟で長期入院患者のセルフケアのサポートをしてきました。どうすればこれまでの生活に戻れるか、患者の気持ちを考えながら退院をめざします。精神疾患は特に各々人で症状が異なるため、画一的な対応はできません。患者が自分らしく生きていくために必要な看護技術を身につけたいと思い、四天王寺大学院に進学しました。複雑性PTSDなどで起こる自己破壊行動化に対する看護をテーマに研究。言語化の難しい患者の思いをくみ取る必要があるなど、サポートの難しさを感じることも多く、日常的な関わりの中で回復促進につながるケアとは何か模索しました。共に悩み、患者の成長や良い変化が見られたときの喜びはひとしおです。看護師全体のクオリティアップが療養環境の改善につながると思うので、より質の高い看護技術を身につけ、現場に還元していきたいです。

履修科目[例]

精神科薬物療法

精神疾患における薬物療法について学びます。自身で調べた内容をプレゼンしたり、臨床の中で考えたことを質問したりと、実践経験豊富な先生から助言してもらえ、学びの多い授業です。普段の業務の中で感じている疑問などを仕事に話さずには時間ありませんので、大変貴重な機会であり、実務に直結した学びが得られました。

学費等

- 入学金 200,000円
- 授業料等(年額)

		夏学期	冬学期
学納金	授業料	190,000円	190,000円
	運営維持費	55,000円	55,000円
	施設拡充費	55,000円	55,000円
同窓会費(委託徴収)		10,000円	—
合計		310,000円	300,000円

- (1) 入学金・同窓会費は入学時のみ必要です。
- (2) 授業料・運営維持費・施設拡充費は、入学時と冬学期に分けて納入してください。
- (3) 入学を辞退される場合は、入学金を除く全ての納付金を返還します。
 - 入学辞退届を送付または持参してください。ただし、2025年3月31日(月)17:00必着とします。それ以降の提出は受け付けません。
 - 入学辞退届を本学で受理後、所定の手続きを経て本学が指定した期日に入学金を除く全ての納付金を返還します。
- (4) 授業料等の額は2年次以降変更することがあります。
- (5) 専門看護師コースを希望する場合は、別途実習費を徴収します。

職業を有している等の事情により、標準修業年限を越えて履修し、教育課程の修了をめぐり長期履修制度を導入しています。

入試日程

博士前期課程(一般選抜・社会人選抜)

	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続期間	試験科目
9月選考	[郵送](締切日消印有効) 8/14(水)~8/22(木)	9/7(土)	本学	9/14(土)	[入学金] 9/17(火)~10/4(金) [授業料等] 9/17(火)~1/20(月)	一般選抜: 小論文[90分]/外国語(英語)[60分]/ 専門科目[60分]/面接試験
2月選考	[郵送](締切日消印有効) 1/3(金)~1/14(火)	2/1(土)		2/7(金)	[入学金・授業料等] 2/10(月)~2/21(金)	社会人選抜: 小論文[90分]/面接試験

博士後期課程

	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続期間	試験科目
9月選考	[郵送](締切日消印有効) 8/14(水)~8/22(木)	9/7(土)	本学	9/14(土)	[入学金] 9/17(火)~10/4(金) [授業料等] 9/17(火)~1/20(月)	小論文[90分]/外国語(英語)[60分]/面接試験
2月選考	[郵送](締切日消印有効) 1/3(金)~1/14(火)	2/1(土)		2/7(金)	[入学金・授業料等] 2/10(月)~2/21(金)	

出願資格・書類

	博士前期課程	博士後期課程
出願資格	<p>本学看護学研究科の前期課程に入学することができる者は、次のいずれかに該当する者とする。なお、入学を希望する者は、あらかじめ出願資格の確認及び希望する研究指導教員と事前相談を行うものとする。</p> <p>(1) 研究者コース入学志願者</p> <ol style="list-style-type: none">① 大学を卒業した者及び2025年3月までに大学卒業見込みの者② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2025年3月までに学位を授与される見込みの者③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者④ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者⑤ 文部科学大臣が外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者⑥ 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年3月までに学位授与される見込みの者⑦ 文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者⑧ 本学看護学研究科において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で入学までに22歳に達する者 <p>(2) 専門看護師コース(精神看護学・老年看護学・災害看護学)入学志願者</p> <p>上記(1)の①~⑧のいずれかに該当する者で、原則として入学時点で看護実務経験を3年以上有する者</p> <p>(3) 社会人選抜入学志願者</p> <p>上記(1)の①~⑧のいずれかに該当する者で、社会人選抜に出願できる者は、入学時に医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において実務経験を有する者で、入学後も引き続き勤務を続ける者</p> <p>■ 出願資格における個別の入学資格審査</p> <p>上記の「出願資格」(1)の⑦、⑧に該当する入学志願者は、出願の前に入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、入試要項の「出願資格の事前審査」に記載する必要な申請書類を準備し、期限までに提出してください。</p> <p>【9月選考】[事前審査受付] 7月22日(月)~7月25日(木) [審査結果] 8月7日(水)</p> <p>【2月選考】[事前審査受付] 12月2日(月)~12月5日(木) [審査結果] 12月19日(木)</p>	<p>本学看護学研究科の後期課程に入学することができる者は、次のいずれかに該当する者とする。なお、入学を希望する者は、あらかじめ希望する研究指導教員と事前相談を行うものとする。</p> <ol style="list-style-type: none">① 修士の学位や専門職学位を有する者及び2025年3月取得見込みの者② 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025年3月までに授与される見込みの者③ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025年3月までに授与される見込みの者④ 文部科学大臣が外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者及び2025年3月までに授与される見込みの者⑤ 本学看護学研究科において個別の入学資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で入学までに24歳に達する者 <p>■ 出願資格における個別の入学資格審査</p> <p>上記の「出願資格」⑤に該当する入学志願者は、出願の前に入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、入試要項の「出願資格の事前審査」に記載する必要な申請書類を準備し、期限までに提出してください。</p> <p>【9月選考】[事前審査受付] 7月22日(月)~7月25日(木) [審査結果] 8月7日(水)</p> <p>【2月選考】[事前審査受付] 12月2日(月)~12月5日(木) [審査結果] 12月19日(木)</p>

- 出願書類の詳細は本学ホームページをご確認ください。

施設紹介

大学院専用の教育スペース

大学院教員研究室、院生研究室、院生資料室などの院生が利用する施設を6号館に集約。院生研究室には個人用ブースやロッカー、パソコン等を完備しています。



あべのハルカスサテライトキャンパス

あべのハルカスの23階に、四天王寺大学のサテライトキャンパスを設置。各線天王寺駅や大阪阿部野橋駅から直結しており、アクセス抜群。看護実践開発研究センターの実施プログラム会場としても活用しています。



〔図書館(地下2階～2階)〕

図書約34万冊、雑誌約4,000種、その他視聴覚資料としてビデオ、DVD、CD等を所蔵。インターネット接続可能なコンピュータやAVブースなど、設備が充実しています。



〔看護実践開発研究センター〕

教育の提供や研究実施を通じて、看護職の看護実践能力の向上、看護ケアの質の向上と医療提供体制の構築をはかり、人々の健康維持・向上に貢献することを目的として設置。



アクセス 電車・バス・自動車などで通学できます。

最寄り駅の「藤井寺」駅から、天王寺・大阪阿部野橋までダイレクトにアクセスできるので、神戸・京都・奈良・和歌山など近畿一円からの通学が可能です。近鉄南大阪線「藤井寺」駅と「古市」駅から本学へは近鉄バスが運行。

自動車・バイク・自転車通学OK!

社会人が直接職場から大学院へ通学する際など、自動車通学が可能。自動車約700台、バイク約600台収容の無料駐車場が利用でき、アクセス至便です。

